

# 令和 6 年度昭和村総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和 6 年 10 月 3 日 (木) 午後 2 時 56 分
- 2 場 所 昭和村公民館研修室
- 3 出席者 舟木幸一 (昭和村長)  
栗村良輔 (昭和村教育委員会教育長)  
五十嵐麻裕子 (昭和村教育委員(教育長職務代理者))  
本名 敬 (昭和村教育委員)  
小林さや香 (昭和村教育委員)  
涌井一統 (昭和村教育委員)  
栗城進也 (昭和村教育委員会教育次長)  
鶴川洸一 (昭和村教育委員会教育係長)
- 4 欠席者 東原健二 (昭和村総務課長)
- 5 傍聴人 なし
- 6 議事

議題 1 令和 6 年度教育委員会の事務事業執行状況について

議題 2 教育行政全般について

## 7 会議の概要

### ◎ 開会 (午後 2 時 56 分)

教育係長が開会を宣言した。

### ◎ あいさつ

はじめに村長が行い、続いて教育長が行った。

### ◎ 議事

**教育係長**：これより議事に移ります。この会議は議事録を作成し、後日、昭和村公式ホームページで公表いたします。なお、個人の秘密を保つ必要があるもの、公表すべきでないものについては、その部分を非公表とさせていただきます。

議事の議長は要綱第 4 条の規定により村長にお願いします。

**村長**：議事に入らせていただきます。議題 1 について事務局の説明を求めます。  
(教育次長が資料の説明をした。)

**村長**：委員の皆さんから、この件についてご質問またはご意見などありましたらご発言をお願いします。

**五十嵐委員**：今年度は昭和小学校複式学級支援講師が3人配置されて、子ども達は充実した毎日を過ごしていると感じています。

**村長**：これに関して教育長からは何かありますか。

**教育長**：昨年度は講師の配置が厳しい状況でしたが、今年度は本村を希望した講師もいますので、充実した授業を展開することができています。

**小林委員**：喰丸小を国登録有形文化財に登録することも検討とのことですが、登録された場合には施設を利用する時に制限や制約は出てくるのですか。

**教育次長**：登録されても利用する人や使用する人に対する制限や制約はありません。登録有形文化財制度では、建物の様々な活用を行いやすいことが特徴です。今までどおりに使うもよし、事業や観光資源にすることもできます。外観が大きく変わる場合や移築の場合などには現状変更の届け出が必要になりますが、登録することで規制に強く縛られることはありません。地域の活性化のために積極的に活用しながら、文化財として緩やかに守ることができ、また、修理や管理について国に技術的な助言を求める 것도できます。

**涌井委員**：現在、行政や団体の事務所として使用していますが、今後も使用には制約はないと理解していいのですか。

**教育次長**：制約はありません。登録されることによって文化財としても観光や交流の資源として新たに注目されることも期待されます。

**村長**：文化財でも国宝になると制約が厳しくなりますが、登録有形文化財だと厳しい制約はないものと思われます。

**五十嵐委員**：学校給食の材料で昭和村産の確保が難しいというのは心配です。大きく経営している農家しか提供できないのでしょうか。

**教育次長**：栄養士が献立を作る際には、必要な材料は必要な時に必要な量を確実に入手できることが条件ですから、それに応えることができる生産者がいれば良いのですが村内には見当たりません。昭和村産では米、きのこは常に確保できる状況となっています。

**村長**：教員宿舎の新築工事は順調に進んでいるようですが、最短でいつ頃には完成すると見込んでいますか。

**教育係長**：最短で12月中に建物は完成すると思われます。

**村長**：電子図書館の運用は複数の自治体との共同運用を目指すとしていますが、共同運用する自治体には負担を求めるのですか。

**教育次長**：共同運用の趣旨は、運営費用を複数の自治体で負担しあうことが目的であります。共同運用の自治体が増えれば本村の負担額は減ることになります。

**村長**：広域行政の連携を推進していますので、只見川電源流域振興協議会あるいは五町村活性化協議会などを窓口にして働きかけをしてはどうでしょうか。

**教育次長**：そのように計画をしています。

**村長**：村民文化祭で「雪国昭和村を支えた冬の民具展」を企画しているようですが、からむし工芸博物館で開催中の「奥会津の冬展」の物を持ってくるということなのでしょうか。

**教育次長**：その展示物ではなく、生涯学習センターに収蔵している民具の中からテーマに合った物を持ってきて展示するというものです。

**村長**：矢ノ原湿原の観賞用スイレンの駆除は数年前に福島大学によって大規模に行われましたが、一部採り残しが見られるようです。その後の駆除は新年度に行うのですか。

**教育次長**：令和5年度以降も福島大学で定期的に実施しています。大学の事業なので村は費用などの関与はしていませんが今後も継続されると聞いています。

**村長**：公民館床張替工事が完成して明るくなつて利用者に好印象を与えているようで良かったです。また、学校給食センターの村内産食材の件ですが、本村の学校給食は事業規模が小さく、材料は少量を複数種類必要とすることから、生産者はそれに対応することが大変だとも聞いています。地産地消は理想だが本村のような場合には難しい面もあるということをご理解ください。米は100%昭和村産を使っています。参考までに、現在のところ草加市の学校給食に昭和村の米を使っていただくよう話を進めているところです。それから、総合運動会の参加者が約200人ということは人口1,100人の村にあってすごいことだと思います。若い人たちの参加が多くて新しい総合運動会の形ができたかなと思っています。こういう場を活用して新規就農の人たちや移住してきた人たちと交流を図ることは重要だと思います。

**小林委員**：今年の村民文化祭には博士トンネルを活用した交流活動として、会津美里町の団体にも参加をお願いするとしていましたがどうなりましたか。

**教育次長**：1団体、ステージ発表の場に出演していただけすることになりました。

**村長**：この他、資料には載っていませんが今年の教育委員会では、何年も県に要望を継続して、やっと今年、特別支援学級の設置が実現できました。また最近では、中学校に配置されなかった社会科の先生も、関係機関に働きかけた結果、9月に配置されました。小中一貫教育に関しては、毎月の昭和村校長会に、10月から昭和村保育所長も参加することになり、保育所から中学校卒業までの一貫した教育と子育ての連携をさらに進める取り組みも始まっています。

**村長**：他にご意見などないようですから、議題1は以上で終了します。続いて、議題2、教育行政全般についてあります。本村の教育行政全般に亘って、皆さまからご意見やご提案などをお聞かせいただきたいと思います。

**本名委員**：今年の3月にまとめた昭和村子どもの教育検討委員会の提言に対するその後についてです。委員会では保育所、給食センターを含めた小中一貫校を新築すべきで、早期に建設に向けた体制を整えるよう提言しました。すんなり次に進むものと思っていたが動きが見られません。村長には新築の方向で進めるよう決定していただきたいです。

**村長**：まだ議会などとは共通理解は得られていませんが、私の考えとしては小中一貫校は新築でと考えています。今の小学校に中学校が入るのは教室数が足りず不可能です。施設の長寿命化にも改修費用がかなり必要になってきます。ただ、新しく建てる場合は場所の選定もしっかりやる必要があります。建設の時期については建設費も何十億という規模になるということと、役場庁舎の建て替えも早期にしなければならない状況で、財政力が乏しい村では同時期にはできそうもありません。また、村民にも小中一貫校への理解をしてもらわなければなりません。したがって、現段階では何年に建設しますとは約束できません。それと、施設が分散するのは良くないと思いますので、例えば昭和村公民館の近くに建てることが理想だと思います。

**本名委員**：新築するということを聞いて安心しました。今の小学校、中学校共に河川が近くで、浸水害などの被害を受ける心配があります。新築する場合は安全な場所を選んでほしいです。

**村長**：安全な場所を選定することは大事です。県が発表した野尻川洪水浸水想定地域内に建築しますと、建設費の補助や起債もできなくなります。

**本名委員**：広報しょうわに9月議会での行政報告が掲載されていました。残念ながら教育の分野に「小中一貫教育」の文言がありませんでした。

**村長**：これは、私が村長就任以来、年4回の議会で報告する行政報告の内容を村民にお知らせする場面として設けています。要約版なので多少違いがあることは確かです。

**本名委員**：村民全員の目に触れる機会ですので、小中一貫教育という言葉がほしかったな、というのが感想です。

**村長**：次の議会では先ほど紹介した保育所と学校教育の連携強化についても、小中一貫教育の取り組みのひとつとして報告をしたいと思います。

**本名委員**：ぜひお願ひします。

**教育長**：私の考える本村の特色ある教育の考え方をお話します。昭和村についての理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域での生活意欲を系統的に育むために、仮称ですが「しょうわ科」を小中学校の教育課程に位置づけたいと考えています。

**村長**：現在、中学校で行っている「花育」などはまさにそれで、全国に先駆けて始めた例です。県内でも小中一貫校や義務教育学校に取り組むところが増えてきていますが、急ぐことも大切ですが、機運をしっかりと作ることも大事なことです。

**村長**：児童生徒数が減ることは単に学校経営や教育環境だけでなく、村の経営にも影響してきます。教育委員会だけで考えることでもなく、行政全体の課題として取り組まないと成果が出ません。教育委員の立場からは子どもの数を増やすためにはどういった教育が良いのか、という視点も大事かと思います。磐梯町は町づくりの柱は教育として、町で教育を受けさせたいと思う世帯を確保することに取り組んでいます。本村も昭和村で子育てをして学校教育も受けさせたい世帯を獲得するために、昭和村ならではの小中一貫教育、一貫校ができれば良いと考えます。昭和村で生まれ育った子どもが昭和村の将来を左右します。

**五十嵐委員**：特色ある教育とは何だろうと考えますと、いかに子ども達がこの村

を好きになるかだと思います。それには親世代が村を知って好きにならないとできないことですので、親世代を巻き込むようなシステムはできないものかと考えます。

**村長**：親世代に関するることは学校教育ではなくて社会教育の分野です。社会教育とは学習で社会課題を解決するという側面ももっています。カルチャーセンターの機能だけであってはなりません。

**本名委員**：議題の趣旨とは離れますぐ、道の駅にオストメイトトイレを設置してはどうかと提案します。本村にはどこの公共施設にもありませんが、近隣の市町村は道の駅に設置されているようです。

**村長**：障がいをもっている人やお年寄りに対する思いやりの施策は必要なので検討します。

**村長**：発言も出つくしたようですので、議題 2 については以上で終了いたします。本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。以上で議長の役目を終わらせていただきます。

◎ その他

教育係長が、その他について発言を促したが、出席者から発言はなかった。

◎ 閉会（午後 4 時 24 分）

教育係長が閉会を宣言した。

令和 6 年度  
昭和村総合教育会議

日 時 令和 6 年 10 月 3 日 午後 3 時

場 所 昭和村公民館研修室

(進行: 教育係長)

次 第

1 開 会

2 あいさつ 昭和村長

昭和村教育長

3 議 事

議題 1 令和 6 年度教育委員会の事務事業執行状況について

議題 2 教育行政全般について

4 その他

5 閉 会

以 上

## 昭和村総合教育会議名簿

昭和村長 舟木幸一

昭和村教育長 栗村良輔

昭和村教育委員 五十嵐 麻裕子

昭和村教育委員 本名 敬

昭和村教育委員 小林さや香

昭和村教育委員 涌井一統

### 【庶務】

教育次長 栗城進也

教育係長 鵜川洸一

総務課長 束原健二(欠席)

## 会議席次

昭和村長

教育長

五十嵐  
麻裕子  
委員

小林さや香  
委員

本名  
敬  
委員

涌井一統  
委員

庶務  
(教育次長／教育係長)

## 議題1 令和6年度教育委員会の事務事業執行状況について

(令和6年9月24日現在)

No	主な事務事業の名称	既定の計画	執行状況	
			上半期(9月までの実績	下半期(10月以降)の計画
1	健康増進施設(昭和村運動広場) 網戸設置工事	今年度は通常の施設管理のほかに健康増進施設(体育館)に暑さと換気対策のため、網戸設置を行う。 【予算現額:536千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>完了:令和6年6月24日</li> <li>契約先:栗城馬場工業(株)</li> <li>施工内容:掃き出し窓4箇所／木製網戸1箇所</li> <li>執行済額:536千円(100%)</li> </ul>	グラウンドの水はけ解消の検討も進める。
2	教員宿舎新築工事	教職員の住環境改善のため、小中津川字石仏地内に、木造2階建て長屋形式1棟(4世帯)を建築する。(文科省交付金対象) 【予算現額:161,623千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約日:令和6年6月3日</li> <li>契約額:123,200千円</li> <li>契約先:滝谷建設工業(株)</li> <li>工期:令和7年3月10日</li> <li>進捗状況:基礎・土台・柱・梁等の木工事を施工中</li> <li>執行済額:49,280千円(30.5%)</li> </ul>	10月以降は、金属・左官・塗装・内外装・電気・機械設備工事を予定。 入居料は年内に決定する。
3	外国語指導助手(ALT)配置事業	小、中学校児童生徒の英語力向上のため1人を配置する。 なお、村民の国際理解を深めるため英会話教室の講師としても活用する。 【予算現額:4,079千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名:アレクサンドラ(2年目)</li> <li>英会話教室 回数:5回／受講生:8名</li> <li>執行済額:1,963千円(48.1%)</li> </ul>	引き続き小中学生の英語指導と、英会話教室(6回予定)の講師を勤める。

No	主な事務事業の名称	既定の計画	執行状況	
			上半期(9月まで)の実績	下半期(10月以降)の計画
4	I C T教育支援事業	支援員が月4回程度、小中学校を訪問し児童生徒及び教員に対しICT機器の効果的な活用の支援を行う。 【予算現額:1,936千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先:(有)ワンピース</li> <li>・支援回数:昭和小 15回 昭和中 15日 夏季休業中は支援なし</li> <li>・執行済額:708千円(36.6%)</li> </ul>	引き続き小中学校の実状に応じた支援を行う。
5	昭和小学校複式学級支援講師配置事業	複式学級解消を図るため、昭和小学校へ講師を3人配置し、児童の学びを保障する。 身分は昭和村会計年度任用職員。 【予算現額:17,331千円】	<p>計画どおりに講師を雇用し、配置することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・執行済額:5,095千円(29.4%)</li> </ul>	引き続き配置し、児童の教育支援を行う。
6	昭和小学校外壁補修工事	児童の安全と施設の長寿命化対策のため校舎南側の外壁補修工事を行う。 【予算現額:18,961千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約日:令和6年5月23日</li> <li>・契約額:16,720千円</li> <li>・契約先:滝谷建設工業(株)</li> <li>・工 期:令和6年12月27日</li> <li>・進捗状況:外部足場・クラック補修・左官補修を施工中</li> <li>・執行済額:6,680千円(35.2%)</li> </ul>	10月以降はクラック補修・左官補修・軒天等塗装を予定。 外部足場は11月10日頃解体予定。

No	主な事務事業の名称	既定の計画	執行状況	
			上半期(9月まで)の実績	下半期(10月以降)の計画
7	生涯学習推進事業	<p>村内の自然や伝統行事及び親子とのふれあいを図るため少年教室を開催する。</p> <p>また、村民の学習ニーズに添った千歳学級や生涯学習講座を企画運営する。</p> <p>【予算現額:440千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年教室7回</li> <li>・千歳学級6回</li> <li>・生涯学習講座</li> <li>矢ノ原湿原勉強会5回</li> <li>昭和学講座5回</li> <li>英会話教室5回</li> <li>刃物研ぎ教室</li> <li>ヨガ教室</li> <li>寄せ植え教室</li> <li>陶芸教室</li> <li>アクセサリー作り教室</li> </ul> <p>・執行済額:165千円(37.5%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年教室7回</li> <li>・千歳学級4回</li> <li>・生涯学習講座</li> <li>矢ノ原湿原勉強会2回</li> <li>昭和学講座2回</li> <li>英会話教室6回</li> <li>蕎麦打ち教室</li> <li>しめ飾り教室</li> <li>刃物研ぎ教室</li> <li>冬の行事体験2回</li> </ul>
8	昭和村電子図書館運営事業	<p>電子図書館蔵書計画に基づき、電子書籍購入と地域資料の電子化を進め利用促進を図る。</p> <p>また、複数の自治体との共同運用開始を目指すための周知活動を行う。</p> <p>【予算現額:1,451千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子書籍購入</li> <li>購入先:(株)メディアドウ</li> <li>購入冊数:198冊</li> <li>・貸出冊数:248冊</li> <li>・執行済額:469千円(32.3%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資料の電子化:34冊予定</li> <li>・共同運用に向け奥会津の町村に働きかけを行う。</li> </ul>
9	民具整理事務	<p>作業員2人を雇用し、小野川生涯学習センターに収蔵の民具について、未整理物件の整理及び処分物件の選定を進める。</p> <p>【予算現額:868千円】</p>	<p>未整理物件の整理は概ね計画どおり進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事日数:60日/120日</li> <li>・執行済額:286千円(32.9%)</li> </ul>	<p>第62回村民文化祭では「雪国昭和村を支えた冬の民具」をテーマに、収蔵する民具からいくつかを展示する企画を行う。</p>

No	主な事務事業の名称	既定の計画	執行状況	
			上半期(9月まで)の実績	下半期(10月以降)の計画
10	文化財関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和学講座（生涯学習講座） 村内6地区でフィールドワークを行う。</li> <li>○矢ノ原湿原勉強会（生涯学習講座） 現地で全6回の勉強会を開催。</li> <li>○矢ノ原湿原 監視員1名を委託し、4月～11月まで巡視を行う。</li> <li>○駒止湿原 保護協議会による巡視、鳥獣害対策、維持管理を実施。また今年度から保存管理計画の見直しに着手する。</li> <li>○その他 松山地区の古民家の継続調査を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和学講座：下中津川、松山、野尻、中向、両原で開催。講師は菅家博昭氏。</li> <li>○矢ノ原湿原勉強会：県植物研究会の二瓶重和氏を講師に5回開催。</li> <li>○矢ノ原湿原：監視は月2回実施した。盗採などの被害はない。</li> <li>○駒止湿原：5月21日の開山日から駒止湿原案内の会で毎日巡視を実施。保存管理計画見直しは、検討会議を4回開催した。</li> <li>○その他：松山地区の古民家は6月27日に文化庁調査官による国登録有形文化財登録候補現地調査が行われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和学講座：10月に喰丸地区で開催し、11月には特別講演会を開催する。</li> <li>○矢ノ原湿原勉強会：最終回を10月に開催。</li> <li>○矢ノ原湿原：監視は11月まで。</li> <li>○駒止湿原：巡視は10月31日の閉山まで実施。保存計画見直しは10月下旬までに素案を作成予定。</li> <li>○その他：松山地区の古民家の文化財指定は継続案件とする。文化庁調査官によれば、喰丸小も国登録有形文化財の候補になり得ることから、併せて検討を進める。</li> </ul>

No	主な事務事業の名称	既定の計画	執行状況	
			上半期(9月まで)の実績	下半期(10月以降)の計画
11	第62回昭和村民文化祭	<p>11月の毎週末毎に公民館を会場に、文化芸術スポーツ月間として、関連する事業を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化作品展示</li> <li>・小中学校文化祭</li> <li>・芸能発表会など</li> <li>・しょうぶんシネマ上映会</li> <li>・電子図書館1周年記念</li> <li>・会津西部巡回美術展</li> <li>・e スポーツ体験交流会</li> <li>・昭和学講座特別講演会</li> </ul> <p>【予算現額:615千円】</p>	<p>実行委員会を9月4日に開催し、日程及び内容を決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・執行済額:0千円(0%)</li> </ul>	<p>11月 (文化芸術スポーツ月間) 2日～4日:芸術文化作品展示 2日:小中学校文化祭 3日:芸能発表会など 4日:しょうぶんシネマ上映会 9日:電子図書館1周年記念 16日～17日:会津西部巡回美術展 24日: e スポーツ体験交流会 30日:昭和学講座特別講演会</p>
12	公民館床等張替工事	<p>公民館利用者が気持ちよく利用できるよう、損耗が著しい床カーペットと壁紙の張替を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床:1階(図書室、ホール除く)</li> <li>・壁紙:研修室</li> <li>・パネル:視聴覚室</li> </ul> <p>【予算現額:2,500千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了:令和6年8月23日</li> <li>・契約先:金子建設(株)</li> <li>・工種 床245m<sup>2</sup> 研修室壁紙88m<sup>2</sup> 視聴覚室パネル18枚</li> <li>・執行済額:2,475千円(99%)</li> </ul>	<p>次年度以降には2階の床張替工事を実施したい。</p>

No	主な事務事業の名称	既定の計画	執行状況	
			上半期(9月まで)の実績	下半期(10月以降)の計画
13	第57回昭和村総合運動会	<p>村民の親睦と融和を図り、体力増進及び心身ともに健康で明るい地域社会を創出する。</p> <p>【予算現額:362千円】</p>	<p>今年度も小学校運動会と村民の部の合同で開催し、保育所児童から高齢者まで多くの村民が集い親睦が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数:約200人</li> <li>・開催日:令和6年5月28日</li> <li>・執行済額:342千円(94.5%)</li> </ul>	<p>令和7年度の開催に向け、スポーツ推進委員定例会で課題等を整理し、効果的な大会となるよう検討を進める。</p>
14	昭和村学校給食センター運営事業	<p>調理業務は(株)奥会津昭和村振興公社へ委託し、中学校栄養技師の管理の下、地場産品（県内産、村内産）の活用を図り、児童生徒に安全安心な給食を提供する。</p> <p>【予算現額:17,184千円】</p>	<p>不適切事案などは発生しておらず、計画どおり運営を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・執行済額:6,479千円(37.7%)</li> <li>・地場産品の活用割合(単位:%) 地場産品48.5(前年比+10.5) うち村産11.3( ノ +3.7)</li> </ul>	<p>令和5年度までの村内産品は、穀類・きのこ類・いも類・豆類、野菜(緑黄色除く)を仕入れることが可能だったが、いも類、豆類、野菜類を供給する農家が撤退したため、村内産品活用割合は低下する見込み。</p>